

3年目1年生第4回目授業



※例年では3回目授業と同じ単元

グローバル・マインドを考える

グローバル課題研究Ⅰ
第4回
2017/06/10



© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

CONTENTS



本時の目標

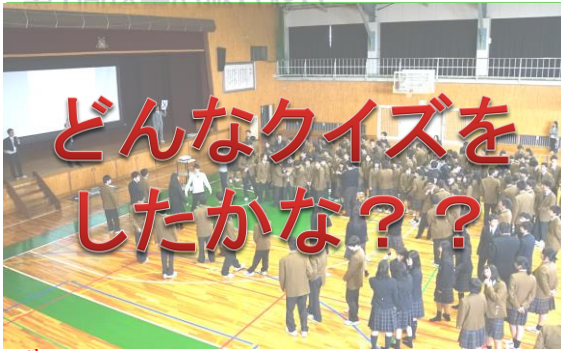
自分なりに「グローバル・マインド」を定義づけてみよう！

- ・第1回授業の振り返り
- ・アイスブレイク
- ・特別講演の振り返り
- ・ワークショップ：「バーンガ」
- ・グローバル・マインドを定義づけよう



© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

第1回授業の振り返り



© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

この日のクイズ一覧



<キーワード>

- | | |
|-----------|-----------|
| ①天ぷらうどん | ⑥日本に住む外国人 |
| ②エネルギー資源 | ⑦外国に住む日本人 |
| ③1ドル以下の生活 | ⑧留学生 |
| ④小学校 | ⑨英和辞典 |
| ⑤イスラム教 | ⑩ポケモン |
| | ⑪ユニクロ |

ポートフォリオでの質問は、
(1)勉強になったこと
(2)頑張ったこと



© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

振り返り①クイズ



日本はエネルギー資源を輸入できなくなったら、電力は現在の何%になってしまうか？



5%

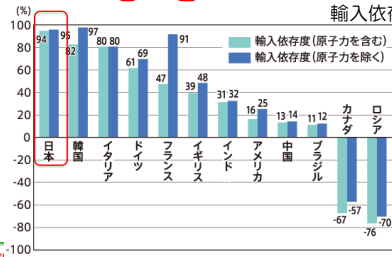
50%



© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

正解は... **A 5%**

日本のエネルギー資源
輸入依存度は95%



© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED



1日1ドル以下で生活している人は世界で何人いるか？

1ドル=約108.7円(本日)



A

約2億人

B

約12億人

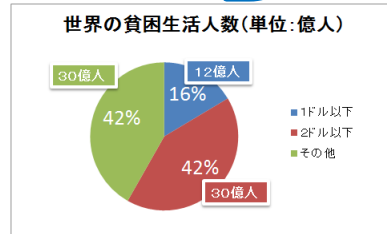
SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED



正解は...

B 約12億人



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

ポートフォリオからの抜粋



(1) 「発見」したこと。「勉強になった」こと。

日本にはエネルギー資源がほとんどなく、大部分を輸入に頼っているという点に驚いた。なので、自給自足ができるよう頑張る一方で、他国とも仲良くしていく必要があると感じた。(V1組より)



(2) 自分がよくできたところ。

自分の意見もち、相手の目を見て話し合うことができた。(C組より)

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

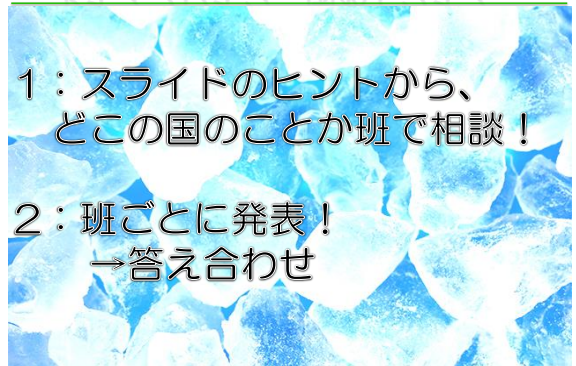
© 2016 OKAYAMA GAKUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

アイスブレイク：国あてクイズ



1：スライドのヒントから、どこの国のことか班で相談！

2：班ごとに発表！
→答え合わせ



アイスブレイク：国あてクイズ



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

アイスブレイク：国あてクイズ



A国

【地理】

東南アジアに位置する。細長い国土でもっとも狭い部分は幅50 kmしかない。台風が多い。雨季がある。

【経済】

コーヒーは世界第二位の生産量。石炭や石油も産出する。慢性的に電力不足。原発の建設計画がある。

1日2ドル未満で暮らす貧困層は国民の40% (2011年アジア開発銀行発表)

【民族・言語・宗教】

54の民族からなる。公用語以外に知識層にはフランス語を話せる人が多い。大半が仏教信者。

【教育・文化】

識字率は93.4%。米、麺類、粥、フランスパンを常食。全国で発行されている新聞や雑誌は600種類を超える

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

アイスブレイク：国あてクイズ

A国：ベトナム 



日本のことを好きな人が多い国NO1 &
日本がもっとも開発援助している国

参考：「電通「ジャパンプランド調査2015」
外務省発表2014年「ODA実績」より

アイスブレイク：国あてクイズ

B国

【地理】
南半球の国。面積は日本の20倍。森林率は19%で大半は砂漠と半乾燥帯。
国土の40%は人が住んでいない。

【経済】
主要貿易相手国は中国。おもに鉄鉱石や石炭を輸出。世界13番目の経済大国。

【民族・言語・宗教】
植民地になるまで先住民には250種類の言語があった。キリスト教61%。

【教育・文化】
多文化主義政策で、複数の言語を学ぶ機会が多いほか、テレビやラジオを他言語で放送する。

アイスブレイク：国あてクイズ

B国：オーストラリア



オーストラリアについて
知っていることは？

アイスブレイク：国あてクイズ

C国

【地理】
北米大陸に位置する。

【経済】
20世紀初めまで経済の主体は農業だったが、現在は世界有数の先進工業国。
近年はIT産業が発展してきている。

【民族・言語・宗教】
白人が76.7%。キリスト教徒が77%でそのうちカトリックが43.2%。
54の民族からなる。

【教育・文化】
温室効果ガスの実績は最下位から2番目。二酸化炭素排出量が10年前より
25%も増えている。2005年の市民結婚法成立により同性結婚をすること
が容易になった。

アイスブレイク：国あてクイズ

C国：カナダ 



カナダは世界1位のウラン生産国で、
日本のウラン調達先1位である。

アイスブレイク：国あてクイズ

D国

【地理】
アラビア半島東部。国土の大部分は砂漠。日本の国土面積は秋田県より少し小さい。

【経済】
主要産業は、液化天然ガス、石油、石油化学製品の輸出。

【民族・言語・宗教】
人口のうちこの国の国籍を持つ人は13%にしか過ぎず、87%が外国人労働者で、
そのうちインド人が最大。公用語はアラビア語だが外国人労働者が多いため英語が
最も広く理解される。国籍保持者の95%はイスラム教。

【教育・文化】
潤沢な石油・天然ガス収入により、医療費や教育費用が無償。社会保障制度も完備。
サッカーが盛んで2022年にFIFAワールドカップ開催が決定している。オイルマ
ネーで多くの有名選手を獲得している。

アイスブレイク：国あてクイズ

D国：カタール 



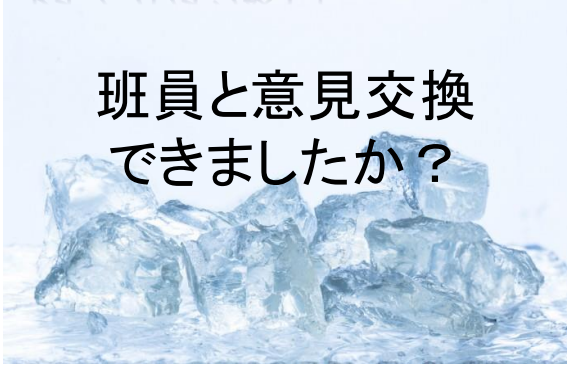
カタールの液化天然ガスの最大顧客は日本。
そのためか、カタールには親日家が多い。

 SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUJIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

アイスブレイク終了！

班員と意見交換
できましたか？



振り返り③：特別講演の内容

グローバルリーダー として生きる



北陸先端科学技術大学院大学
川西俊吾教授

 SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUJIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

世界のつながりと自分たちの生活の理解

- 私たち現代人一人一人は、自分で思っているほど強くはない。
- 生命や生活の維持に必要なものはほとんど自分で作れない。
- 名も知らない他人が作ってくれたもので生命や生活を維持している。
- 言い換えれば、**名前も知らない大勢の他人**がいなければ、私たちは生きられない。
- つまり、私たちは他の人たちの努力によって**生かされている**。

Our Life is supported by
Unknown Significant Others

 SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUJIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

大切な二つの目

Real Eyes = Realize

- 見たい部分だけを見て、現実を矮小化ないしは歪曲化して捉えるのではなく、現実を正しく捉える目を養うことが大切。

Global Eyes = Globalize

- 目の前に見えている事だけではなく、自分の行動や考えが地球全体に及ぼす影響をしっかりと捉え、地球に対する責任を感じるための目を養うことが大切。

 SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUJIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

ワークショップ：バーンガ

ルール説明

- 練習10分（話してもOK）
→ルールを回収！



- 本番5分（**無言**）
- 1位の人は別のクラスへ**無言**で移動
○組へ移動しよう！

 SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUJIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

ワークショップ：バーンガ



2回戦！

- ・制限時間：5分
(今回も無言で！！ジェスチャーはOK)
- ・終了後は元のクラスへ無言で移動

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUSEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

ワークショップ：バーンガ



シェアタイム

- ・他のクラスへ移動した人が感じたことと
- ・受け入れた人が感じたこと
- ・問題をどうやって解決しようとしたか。
- ・普段の生活で同じような気持ちになったことは？

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUSEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

バーンガを通しての学び



疑似的な異文化コミュニケーションを体験



ルールや前提が異なる

どのような気持ちになったり、どのような対応をするべきなのかを体験

異文化理解への第一歩

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUSEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

グローバルリーダーとして生きる



本当はもっと

伝えたかったこと



時間の都合上、
カットしました。

© 2016 OKAYAMA GAKUSEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED



大切なのは黒色があることで初めて白色の部分に意味が生じるということ。逆も然り。つまり、異なったものがお互いを補完し合っている。

次の絵から何がみえる？

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUSEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED



私たちは自分の“みたい”ようにものを見ているが、他者も同じものを同じようにみているとは限らない。異なった見方(=多様性)を柔軟に受け入れられるか。

次の絵から何がみえる？

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUSEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED



大まかな傾向は把握できても、個々は理解できない。

個々の現象は理解できても、他の現状は理解できない。

木を見るか、森をみるか。

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL © 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED



部分的な理解で全体を語ることは愚かしい。全体を包括的に理解することが大切

目隠しをしてゾウを理解しようとする...?

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL © 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

グローバル社会と“ジャズ”

1. 異なった分野で能力を持ったものが自発的に協働する。
2. 特定のリーダーは存在せず、共通のゴールのためにお互いを高め合う。



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL © 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

本時の振り返り

- 国当てゲーム
(他国と日本との関わり)
- 特別講義の振り返り
(USO・2つの目)
- バーンガ
(違いを受け入れる。少数派の気持ち)
- 本当はもっと伝えたかった内容
(だまし絵からみえる視点の違い・ジャズ)

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

本時の目標を達成しよう

• グローバル・マインドを定義しよう

自分の考えるグローバルマインドとは？
班でシェアしよう！

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

3年目の変更点

- ①第1回目はガイダンス、第2回目は先輩の研究発表会、3回目はJAISTの川西先生による多様性講義。最大の変更点は、核となる多様性をどのように捉え、グローバルマインドの醸成に繋げていくかを鑑み、川西先生の講義を春実施に変更したこと。
- ②2年目までのワークショップ型の取り組みを、アイスブレイクとして捉え直した。
- ③授業で出てくる言葉の概念理解と整理を意識的に取り組むようにした。

3年目の反省点と変化

- ①川西先生の講義を春に持ってきた事は大正解。生徒への意識付けが明確になった。また、川西先生の講義の内容を後の授業のところで使用することでカリキュラムの統一性が以前よりも向上した。
- ②アイスブレイクとアクティブラーニングを分けて捉えることで、生徒に何を考えてもらいたいのか、どのような頭の使いをして欲しいのかなど、指導の落とし込みや方向性をより明確に細分化できるようになった。これにより、よりアカデミックな雰囲気や1年次の早期に実現できるようになった。